

地^図情報

ISSN 0286-3111

第45巻 第4号

令和8(2026)年

2月1日発行

Vol.45 No.4

176

一般財団法人
地図情報センター

特集 箱館から函館へ

Journal of Cartography and Geography



巻頭随筆

函館と「津軽海峡圏」	奥平 理	2
------------	------	---

特集 箱館から函館へ

「北海道の玄関」の足跡－青函連絡船・津軽海峡線・新幹線	榎引素夫	5
函館の町の歴史と発展	根本直樹	10
海図に描かれた箱館と函館 －幕末ペリー艦隊海図から明治前期の日本海図までを読み解く－	今井健三	16
箱館と五稜郭の成立	戸祭由美夫	23

コラム

特別展「秋岡図書－地理学者のコレクション－」	永山未沙希	29
------------------------	-------	----

地図楽

地図と私 地形図なしで地形学、土壤地理学の調査は可能だろうか	漆原和子	30
鉄道古地図めぐり⑬ 「日本国有鉄道電化計画線路略図」	今尾恵介	32

文献紹介

祭の地図 日本の祭りとは伝統行事	木下浩子	34
地図力を育む	岩本廣美	34
遊べる、学べる、役立てる 地理院地図の深掘り	栗山絵理	35
地図と読む 日本の街道	武田周一郎	36

資料室

2025年9月～2025年11月号		38
-------------------	--	----

お知らせ

(一財) 地図情報センターからのお知らせ		43
----------------------	--	----

付録 国と国旗ハンドブック 2025/26



祭の地図 日本の祭りとは伝統行事

久保田裕道 監修

A4判 232頁

発行 帝国書院 2025年7月

定価 2,970円 (本体 2,700円+税)

日本の祭りは、地域の歴史や暮らし、信仰と深く結びつき、四季折々に多彩な表情を見せる。そんな祭りの世界を、地図という視点から一望できるのが帝国書院の『祭の地図 日本の祭りとは伝統行事』だ。本書は、全国47都道府県を見開きで紹介し、なんと1,326もの祭りや伝統行事を掲載している。

祭りの写真は、SNSやインターネット検索でも数多く見られるが、本書の写真は「その瞬間をよく撮った!」という傑作揃い。ページを開くたびに、色彩豊かな山車や幻想的な灯り、躍動する人々の姿が目飛び込んでくる。つい写真に惹かれて、「この祭りは何?」と紹介文を読み、地図で場所を確かめる—そんな作業を繰り返してしまう。そして浮かび上がってくる「この地域だから、この季節だから」という必然性が、妙な納得感を与えてくれる。この点にこそ、学校教育における活用の可能性を感じる。社会科の授業では「なぜこの地域でこの祭りが行われるのか」といった学習課題を設定することで、地理的条件や歴史と祭り・文化の結びつきを考察できる。また、総合的な学習の時間に、地域の祭りを確認し「掲載されていない祭りを調べて紹介する」「同じような祭りが開催されている地域との共通性を探る」といった探究学習を行えば、楽しみながら郷土理解を深めることができるだろう。

個人的な感想としては、21の特集ページが圧巻!何度も訪れたことのある祇園祭や有名なねぶた祭でさえ、「そうだったのか…」と新しい発見があり、もう一度訪れたいになってしまう。この知識を持って行けば、さらに一段上の楽しみを味わえ、同行者にうんちくを語りたくなること間違いなしだ。

「この地域にはこんな祭りがあるのか」「隣の県にも似た行事がある」と比較でき、地図と祭りの組み合わせを楽しめるのは、ガイドブックとは違う本書の魅力だと思う。ページをめくるうちに、旅の計画を立てたくなること請け合いだ。そして、読み終えたときに「地元のあの祭りが載っていない!」と悔しがるともまた一興。それほどまでに、日本の祭り文化の奥深さを感じさせてくれる一冊だ。

最後に、秋の京都は紅葉だけでなく祭りも魅力的。今年10月22日に京都三大祭りの一つ「時代祭」が行われ、各時代の装束をまとった約2千人の市民らの行列が京都御苑から平安神宮までの約2kmを巡行した。あいにく



の冷雨にもかかわらず、沿道には時代絵巻のような行列を見るために多くの観光客が集まり、カメラのシャッターを切っていた。さらに同日の夜には「鞍馬の火祭」が行われ、大きな炎を掲げて練り歩く男性たちが降りかかる火の粉を浴びながら、洛北の山里に勇壮な声を響かせた。例年、両祭りは10月22日に開催されるため、悪天候で延期されない限り、祭りのはしごも可能だ。本書の京都府・京都市のページを参考に、風情の異なる2つの祭りを堪能する旅の企画はどうだろうか。

祭りは、地域の記憶と人々の絆を映す鏡。本書を手に取り、地図を通して日本の祭りを再発見してみませんか?

(舞鶴市立若浦中学校 木下浩子)

地図力を育む

東京学芸大学地理学分野 編

B5判 103頁

発行 古今書院 2025年9月

定価 3,300円 (本体 3,000円+税)

日頃から地図に関心を持つ方々に向け、地図について様々な角度から述べた、ユニークで有用な本が刊行された。地図力とは何かという問いを軸に、4つの章を設け、正面から挑んだ本書である。

第1章 調査・研究に必要な地図力

第2章 地域の概観をつかむ地図力◆実習編

第3章 表現する地図力◆実習編

第4章 探求する地図力◆発展編

本書は、東京学芸大学地理学会シリーズIIの第5巻として刊行されたもので、著者は同大学地理学分野の先生方(青木久、澤田康徳、牛垣雄矢、加賀美雅弘)のほか、卒業生22名が執筆に加わっている。全体は、基本2~4ページからなる18節及び10編のコラムから構成されている。順番に読まなくとも、興味を持った箇所から読んでよいようにつくりられている。

本書の最大の特徴は、きわめて豊富な地図、それも大半は著者らが苦心して作成した地図が実例として掲



載されていることである。各章から、筆者(岩本)がとくに注目した地図を紹介してみよう。

第1章では、4節で「単なる分布図から因果関係が読み取れる地図へ」改善した地図の実例が示される。まず最近の「伊豆半島における大型店」の分布を表す地図が示され、次に大型店分布とほぼ同時期の人口分布とを重ね合わせた地図にしたことで、大型店の立地と人口分布との間に強い因果関係があることが明瞭に読み取れる。

第2章では、3節で「都市近郊の特徴をつかむ」ために、著者らの地元のフィールドである東京都小金井市付近の新旧地形図を提示している。新旧の地図比較という手法はけっして目新しいものではないにしても、提示されてみると、武蔵野台地の地形の特徴と合わせ、改めて発見することが多いことに気付く。

第3章では、コラム「地形模型をつくる」の実例として示された「沼田の河岸段丘の立体模型」が目を引く。立体模型も地図に含めていることがわかる。また、河岸段丘地形の典型的事例を改めて確認することができた。

第4章では、3節「気候認識をとらえるー頭の中で描かれたイメージ」における「「あつさ」に関する認識領域」を示す地図が興味深い。人々が「あつさ」について抱くイメージと実際の気候との違いについて改めて考えさせてくれる。

本書では、以上紹介した4件の実例のほかに、のべ120件以上の地図が示されている。うち、カラーの地図も20件以上含まれている。それぞれの地図を見ていると興味が尽きない。

本書全般を通して文章は平易で親しみやすい。それぞれの地図の背後にあるものを考えながら、本書を一読することを薦めたい。

(奈良教育大学名誉教授 岩本廣美)

遊べる、学べる、役立つ 地理院地図の深掘り

今尾恵介 著

A5判 192頁

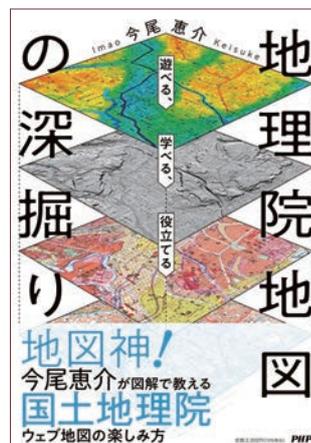
発行 PHP研究所 2025年5月

定価 2,200円(本体2,000円+税)

「地図神!」今尾恵介氏のウェブ地図の楽しみ方を伝える一冊。今尾氏は、中学1年生で国土地理院発行の地形図にハマリ、現在では「地理院地図を見ない日」はないというほどのヘビーユーザーになったそうです。各章の内容もさることながら、「はじめに」のエピソードがクスッと笑えるものばかり。私も職業柄、地理院地図には日頃からお世話になっているのですが「まだまだこんな使い方があるとは!」と驚きました。以下、各章でとくに興味を持った内容をまとめます。

「第一章：紙では望めなかった機能あれこれ」では、日本測地系時代に建立された12市町の日本標準時の「子午線塔」が、世界測地系に移行して東経135度上からずれてしまったということ。例えば、兵庫県西脇市にある東経135度と北緯35度の交差点を示した子午線塔の位置は、世界測地系では南東に440mもずれてしまうことが示されています。

「第二章：いろいろと測ってみよう」では、一般に公開されている河川の長さは測った時期がまちまちで、「利



根川の322kmは大正時代に測ってそのまま」であり、この度今尾氏が地理院地図を駆使して測ってみたところ、新しい測定記録を更新したと楽しんでいます。こうなると他の河川も測ってみるのが著者のユニークなところです。「四国一長い河川」についても測り直し、新しい記録を発表してしまいました(今尾氏の記録については本書の75頁をご覧ください)。

「第三章：多種多様な地図を使おう」では、産業技術総合研究所が開発した「20万分の1日本シームレス地質図®」が地理院地図で閲覧できることが紹介されています。この機能を使えば、足元の3億年前の地層を知ることができます。今尾氏は秩父の石灰鉱山の形成を

文献紹介

地質から紐解き、さらに地名との関係を調査して新たな発見をしています。

「第四章：自分だけの地図を作ろう」では、地理院地図とパワーポイントを活用して鉄道変遷地図を作る方法が紹介されています。上級者向けの内容ですが、わかりやすく紹介されているので「やってみよう!」という気持ちになります。また、「変な地名」を採集する方法も詳しく紹介されていて読むだけでも面白い章です。

「第五章：防災に役立てよう」では、本校の『地理総合』でも活用している「地形分類図(自然地形)」の深掘りが示されています。さらに、「土地条件図(初期整備版)」から「沖積基底等深線」に注目して、約1万年前より新

しい軟弱な沖積層がどれだけの厚さで堆積しているのかを把握する方法を例示しています。氷河期には東京湾は海ではなく「古東京川」の谷だったといい、沖積基底等深線から古東京川の痕跡を読み取る方法を示してくれています。

まさに、今尾氏流の地理院地図の深掘りがてんこ盛りの一冊です。そして、地理院地図は宝の山だということを再発見させてくれます。本書を通じて得た新たな発見をこれからの授業に取り入れていきたいと思います。

(東京学芸大学附属高校 教諭 栗山絵理)

地図と読む 日本の街道

金田章裕・今尾恵介 著

A5判 176頁

発行 地図情報センター

発売 帝国書院 2025年10月

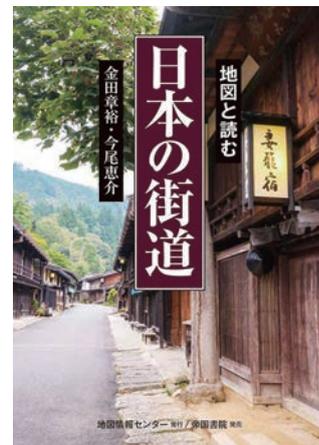
定価 1,980円(本体1,800円+税)

本書は、各時代における歴史的变化を踏まえながら、日本の道の実像とその魅力をたどった一冊である。著者の金田章裕氏と今尾恵介氏は、地図や交通をテーマにした著作を数多く執筆されている。本書でも街道に関する様々な話題がふんだんに紹介されているため、読んでいて興味が尽きない。

本書を順に読み進めると、古代から近代に至る歴史的变化が通覧できる。また、各章では日本各地の事例が取り上げられているから、読者が関心のある地域を選んで読んでいっても楽しめるであろう。いずれの読み方にしても、豊富に掲載された地図が読者の理解を促している。「地図と読む」という書名のとおり、カラーで読みやすい地図は本書の魅力の一つである。

本書は4章構成で、目次に掲げられた項目は56件に及ぶ。まず「1 古代からの道」では、東海道など七道諸国の官道のほか、山辺の道、飛鳥の道、平城京・平安京の道などが取り上げられている。次に「2 中世からの道」では、鎌倉と各地を結び、後に「鎌倉街道」と通称されるようになった道に加えて、熊野や伊勢を目指す参詣の道、立山や出羽三山、富士山の登拝道などが紹介されている。この1章と2章では、「日本図」(仁和寺所蔵)や「京都九条図」・「京都左京九条四坊一町屋地図」(宮内庁書陵部所蔵)、「円覚寺領尾張国富田荘古図」(円覚寺所蔵)、「立山曼荼羅」(富山県立山博物館所蔵)といった史料の図版が掲載されていて、古代・中世の道を視覚的に捉えることができる。

続いて「3 近世からの道」は、五街道やそれに準じる脇街道を取り上げるとともに、文学や浮世絵に描



かれた情景についても触れている。例えば、東海道の箱根というと石畳が有名である。ところが、この石畳が江戸幕府によって建設されてから100年以上後の浮世絵では、坂道に石が散在している様子が描かれている。このような描写は管理が行き届かなくなった東海道の状況を反映していると捉えられ、当時の道路事情がうかがえて興味深い。最後に「4 近代の道へ」は、徒歩から馬車、鉄道、自動車などへと交通手段が大きく移りゆくなかで、その変化に道が対応していった動向をたどっている。特に街道と鉄道の関係について、街道と鉄道路線名、停車場から駅へ、参詣鉄道と街道といった切り口で各地の事例が取り上げられている。

以上のとおり、本書は古代から近代に至る街道の魅力に満ちた好著である。本書には『地図で訪ねる歴史の舞台』(帝国書院)などの地図帳から多くの地図が引用されているから、これらと合わせて読めば、より一層理解が深まるであろう。また、「地理院地図」を活用した地図も数多く掲載されている。本書を読みながら「地理院地図」を閲覧して、関心の赴くままに画面をたどってもよいかもしれない。

(神奈川県立歴史博物館 武田周一郎)

資料室

2025年9月～2025年11月

本号の資料室は、『地域情報ニュース』2025年9月号～2025年11月号(8～10月データ)に収録されている1,011件の中から87件を選んで掲載しました。

数字は出典日:年-月-日-番号
(『地域情報ニュース』の管理番号)

掲載した地図は「資料室」のデータを補完するために作成したもので、正確な地図ではない。一部、予想や省略の部分がある。

1103 行政庁

25-09-09-001 北海道

「夕張市役所」新庁舎(夕張市南清水沢4丁目、拠点複合施設りすた北側)、2030年度完成予定。2階建て。延べ床面積約4720平方メートル。本町4丁目2からの移転。

25-10-11-001 北海道

「稚内市役所」新庁舎(稚内市中央4丁目2)、2025年度10月14日移転・開庁。4階建て。延べ床面積約6700平方メートル。

25-08-19-001 北海道

「湧別町役場」新庁舎(北海道湧別町中湧別南町914、915、924-1～3、中湧別小学校敷地)、2028年3月移転・完成予定。2階建て。庁舎棟が延べ床面積3613平方メートル、校舎棟は3869平方メートル。敷地面積3万5893平方メートル。

25-08-26-001 茨城県

「五霞町複合庁舎」(五霞町大字小福田147-1外)、2029年9月完成予定。2階建て。延べ床面積4805平方メートル、敷地面積約1万5000平方メートル。

25-09-10-001 群馬県

「大泉町役場」新庁舎(大泉町日の出188外、現在の庁舎北側)、2026年5月供用開始予定。3階建て、延べ床面積約7200平方メートル。

25-09-12-001 東京都

「品川区新総合庁舎」(品川区広町2-2-5)、2029年9月開庁予定。地下2階、地上14階建て。

25-10-23-001 富山県

「砺波市役所」新庁舎(砺波市高道44-2、富山県花総合センター跡地)、2030年度移転・供用開始予定。3階建て。延べ床面積約7100平方メートル、敷地面積約2万7000平方メートル。

25-08-28-001 長野県

「松本市役所」新庁舎(松本市丸の内3-7、現敷地)、I期棟は2030年度、II期棟は2034年度完成予定。I期棟は延べ床面積約5300平方メートル、II期棟は同約

1万0100平方メートル。

25-08-20-001 滋賀県

「大津市役所」新庁舎(大津市皇子山総合運動公園内)、2032年度供用開始予定。6階建て。延べ床面積約2万5000～2万7000平方メートル、敷地面積約1万5000平方メートル。同市桜町からの移転。

25-08-12-001 奈良県

「當麻複合施設(仮称)」(葛城市竹内地内)、2027年1月29日完成予定。地下1階、地上3階建て。延べ床面積4309平方メートル。市民活動センター、図書館、庁舎機能。

25-08-21-001 宮崎県

「宮崎市役所」新庁舎(宮崎市橋通西1丁目1-1外、現敷地)、2031年度供用開始予定。13階建て。延べ床面積約3万7460平方メートル。

1104 官公署

25-10-30-002 埼玉県

「埼玉県警察本部越谷警察署」(越谷市東越谷6-27-6、現敷地)、2025年11月4日建替・開署。4階建て。延べ床面積約8050平方メートル、敷地面積8094平方メートル。

25-10-28-001 東京都

「警察総合庁舎」新庁舎(千代田区霞が関2-1-1外)、2034年3月末建替・完成予定。地下1階、地上14階建て。延べ床面積4万5794平方メートル、敷地面積8万5666平方メートル。

25-08-28-002 神奈川県

「高相合同庁舎」(相模原市南区相模大野6-3957-1)、2027年1月29日完成予定。5階建て。延べ床面積6218平方メートル。

25-10-21-002 福井県

「福井県警察本部大野警察署」(大野市中保27字墓前8-1外)、2025年10月20日開署。庁舎は4階建て。延べ床面積3310.86平方メートル。

25-10-20-001 愛知県

「愛知県警察本部半田警察署」(半田市出口町1-31、現敷地)、2025年10月16日完成。5階建て。延べ床面積5416平方メートル。

25-10-28-002 愛知県

老朽化のため移転を計画している「愛知県警察本部常滑警察署」(常滑市新開町)に、「中部空港警察署」(同市セントレア3-3)の機能を統合。移転先は市消防本部・消防署の隣接地(同市飛香台3)、2030年度以降供用開始予定。中部空港警察署は建物の地盤沈下の影響で現在は第2ターミナルビルのフロアを賃借。常滑署の跡地活用は今後調整。統合により、中部空港署は廃止。

25-08-25-001 滋賀県

「第二大津合同庁舎(仮称)」(大津市京町3-226-1)、2027年度供用開始予定。6階建て。延べ床面積6902平方メートル。県医師会、県歯科医師会など医療福祉関係の31団体が入居予定。

25-10-03-002 京都府

「京都中京労働庁舎(仮称)」(京都市中京区御池通西洞院西入石橋町438-5、旧京都地方合同庁舎跡地)、2028年3月2日完成予定。地下1階、地上7階建て。延べ床面積4725平方メートル。

25-09-18-001 京都府

「下京税務署」新庁舎(京都市下京区猪熊通五条上る柿本町690、元堀川警察署跡地)、2028年6月30日完成予定。6階建て。延べ床面積5320.56平方メートル、敷地面積1363.53平方メートル。

25-10-09-003 福岡県

「福岡県警察本部田川警察署」新庁舎(田川市千代町2035-3外)、2027年11月30日移転予定。庁舎棟は4階建て。延べ床面積5743平方メートル。同市千代町からの移転。

25-10-15-001 大分県

「大分総合庁舎(仮称)」(大分市明野東1)、2026年3月27日整備基本計画策定、完成時期不明。4階建て。延べ床面積約5000平方メートル。中部振興局(県庁舎別館内)と大分土木事務所(同市向原西)を移転集約。

1105 その他行政

25-08-28-003 北海道

「札幌圏消防指令センター」(札幌市中央区南4西10、札幌市消防局内)、2025年8月26日完成。同年9月から順次、札幌市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村の119番通報を一元化して受け付け。8市町村には6消防本部があり、今まではそれぞれに指令センターがあった。

25-09-25-001 埼玉県

「本庄市複合施設(仮称)」(本庄市児玉町蛭川915-5外、共和公民館・旧児玉郡市広域市町村圏組合事務所跡地)、2029年度完成予定。敷地面積6470平方メートル。生涯学習機能、高齢者福祉機能、公民館機能、シルバー人材センターなどを集約。

25-08-08-101 東京都

「子ども・子育てサポート等複合施設(仮称)」(町田市木曽東3-1-3)、2030年度供用開始予定。延べ床面積約1万4600平方メートル、敷地面積1万3783平方メートル。

1201 JR線

25-09-22-003 東京都

JR東日本「南武線(谷保駅～立川駅間)連続立体交差事業」(国立市富士見台1丁目～立川市錦町1丁目、延長3.7km)、2025年9月環境影響評価手続き開始。工事予定期間は約13年。谷保駅、矢川駅、西国立駅を立体化。19か所の踏切を除却。

25-08-19-003 兵庫県

JR西日本、山陽線新駅「手柄山平和公園」(姫路市西延末、手柄山中央公園北側、姫路駅～英賀保駅間)、2026年春開業予定。相対式2面ホーム、橋上駅舎。

1202 私鉄線

25-10-09-004 青森県

「弘南鉄道大鰐線」(弘前市、中央弘前駅～青森県大鰐町、大鰐駅、延長約14km)、2028年4月1日運行休止予定。老朽化のために、事実上の廃線。

25-10-03-003 東京都

蒲田駅(大田区)と京急蒲田駅(同)を結ぶ「新空港線」(蒲蒲線)、国土交通省は2025年10月3日「速達性向上計画」を認定。2038～42年開業、東急東横線が乗り入れ予定、渋谷駅などから京急蒲田駅まで乗り換えなしで移動できるようになる。東急多摩川線を蒲田駅の手前から地下化、地下に新設する東急の蒲田駅から京急蒲田駅までを線路でつなく。両駅間は約800m。

1202 新交通・索道

25-10-21-004 栃木県

LRT(宇都宮ライトレール)のJR宇都宮駅西側への延伸(宇都宮市)、開業時期が2036年3月にずれ込む見通しを2025年10月20日明らかに。現在終点の「宇都宮駅東口」から新幹線と在来線の間を高架橋で横断、「教育会館前」(同市駒生1丁目)までの4.9km区間に12の停留所を新設、20分あまりで結ぶ計画。

25-09-18-002 広島県

「広島新交通西風新都線」、2036年度ごろ供用開始予定。広域公園駅(広島市安佐南区)から南側に路線を延ばし、五月ヶ丘団地、石内東地区、己斐地区を経由してJR山陽本線西広島駅(西区)に至る。区間延長は約7.1km、

1203 高速国道

25-10-30-004 宮城県

「白石中央スマートIC(仮称)」と「道の駅しろいし(仮称)」(いずれも白石市斎川～大平中目、東北自動車道)、2027年7月供用開始予定。施設(平屋建て)と全天候型ドームやニュースポーツ施設、防災ヘリポート、子どもの遊び場エリアなどを備えた防災広場を一体で整備。

25-08-07-002 茨城県

「東関東自動車道水戸線・潮来～鉦田」(潮来市延方～鉦田市飯名、延長30.9km)、2026年度開通予定。途中のIC名は「潮来行方IC」(潮来市清水、行方市石神)と「行方IC」(行方市両宿)。

25-10-16-001 千葉県

東関東道「検見川・真砂スマートIC(仮称)」(千葉市美浜区、湾岸千葉IC～宮野木JCT間)、2025年10月住民説明会開始、完成時期不明。東京方面への入口・東京方面からの出口のみのハーフICとなる予定。

25-10-21-005 神奈川県

東名高速道路新IC(横浜市瀬谷区、旧上瀬谷通信施設地区)、2025年10月整備概要が明らかに。場所は「横浜町田IC」から静岡寄り約1.5kmほど。環状4号をまたぎ、「上川井瀬谷1号線」に接続予定。

25-10-06-001 新潟県

北陸自動車道「長岡西大積スマートIC」(長岡市宮本東方町、同市大積善間町、大積PA)、2025年名称決定、開通時期未定。これに合わせ、大積PAの名称も「長岡西大積PA」に変更。

25-08-08-001 岐阜県

中央自動車道「神坂スマートIC」(中津川市神坂、神坂PA内、「恵那山トンネル」の名古屋側)、2025年9月13日開通。市道神坂44号線・市道神坂45号線に接続。

25-10-17-002 岐阜県・富山県

東海北陸道の「白川郷IC」(岐阜県白川村)～「五箇山IC」(南砺市) 15.2kmのうち五箇山寄りの2.8km、2車線の対面通行から2025年10月24日に4車線(片側2車線)に拡幅。

25-08-26-003 滋賀県

名神高速道路「多賀スマートIC上り線」(多賀町敏満寺)、2025年冬開通。本線直結型で、「町道多賀スマートインター線(仮称)」を介し国道307号に接続。下り線側のスマートICは多賀SAに接続する形で2023年4月に開通済み。



東関東自動車道水戸線
参考: NEXCO東日本「東関東自動車道(潮来～鉦田)の開通予定」、背景は地理院地図Vector

木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、
これまでにない新たな価値を想像し続け、
真に豊かな暮らしと文化の発展に貢献します。








25-10-20-002 福岡県

九州縦貫自動車道鹿児島線「久留米南スマートIC(仮称)」(久留米市高良内町、藤山町)、2026年度上半期設計完了予定、完成時期不明。県道藤山国分一丁田線に接続。

25-10-30-003 長崎県

西九州自動車道「松浦佐々道路」のうち、「松浦IC」(松浦市志佐町)～「平戸IC」(佐世保市江迎町)間約7.5km、2025年12月14日開通。平戸ICは県道258号平戸江迎線と接続。

1206 一般国道

25-10-29-002 秋田県

国道13号「東北中央道」の「横堀道路」(湯沢市桑崎～同市下隠内、延長3.7km)、2025年11月22日開通。

25-09-08-001 茨城県

県道「土浦竜ヶ崎線バイパス」(阿見町実穀～牛久市結束町)のうち、主要地方道土浦稲敷線～牛久阿見IC(いずれも阿見町)、延長約2.1km、2026年度開通予定。

25-09-26-002 石川県

国道159号「羽咋道路」の羽咋市志々見町～同市四柳町、延長約3.3km、2025年11月1日開通。羽咋道路に接続する県道「若部千里浜インター線」(飯山町～尾長町延長約0.8km)を同日供用。

25-09-22-004 愛知県

国道155号「豊田南バイパス」の豊田市東新町～同市逢妻町間約3.7km、2026年度開通予定。これで全線開通。豊田南バイパスは、逢妻町で国道153号豊田北バイパス(建設中)と接続する予定。

25-08-01-002 滋賀県

国道161号「小松拡幅」14工区(大津市北小松地区、延長約2.4km)、2025年秋開通。

25-08-28-005 滋賀県

国道8号「米原バイパス」の一部(彦根市松原町～同市佐和山町、延長約2.2km)、2025年9月23日開通。これで

全線(長浜市加田町～彦根市佐和山町、延長10.3km)開通。

25-10-12-001 鹿児島県

国道220号「古江バイパス」(鹿屋市一里山交差点～同市古里町交差点、延長約2.3km)、2025年12月6日開通。これで同バイパス約7.5kmが全線開通。

1207 県道

25-10-29-003 埼玉県

県道86号「花園本庄線バイパス」(深谷市後榛沢～本庄市北堀、延長約2.8km)、2025年12月開通。

1207 主要地方道・都道府県道

25-09-29-001 東京都

都道250号 あきる野羽村線「草花大橋」(あきる野市二宮～同市草花、平井川、延長約1.2km)、2025年10月29日開通。

1208 都市計画道路・市町村道

25-09-21-001 宮城県

新「宮沢橋」(仙台市若林区～同市太白区、広瀬川、現橋30m上流)、2026年9月開通予定。完成により国道286号(秋保通)と、都市計画道路「宮沢根白石線(南鍛冶町・舟丁工区)」が接続される。

25-10-23-002 兵庫県

都市計画道路「広畑青山線」(姫路市広畑区才～西蒲田、延長約2.3km)、2025年度開通。

1210 バス

25-09-24-003 東京都

葛飾区は、JR総武線・新小岩駅付近と常磐線・金町駅を結ぶJR貨物線「新金貨物線(総武本線貨物支線)」(葛飾区、延長約7km)沿いに専用道路を整備しBRTを導入する方針、年内にも事業化計画を策定。10駅ほどを整備、運行は1時間あたり6～10本。今後、開業時期についても協議。

1302 ダム・発電所

25-09-16-002 栃木県

「南摩ダム」(鹿沼市上南摩町、思川支流南摩川)、2026年度末完成予定。堤高86.5m、堤頂長359m、総貯水容量5100万 m^3 。

25-10-24-002 愛媛県

治水ダム「山鳥坂ダム」(大洲市肱川町山鳥坂地先、河辺川)、2032年度完成予定。重力式コンクリートダム。堤高96m、堤頂長279m、総貯水容量53万 m^3 。

25-10-21-007 高知県

多目的ダム「和食ダム」(芸西村馬ノ上、和食川水系和食川)、2025年10月19日完成。重力式コンクリートダム。堤高51.0m、堤頂長131.5m、総貯水容量73万 m^3 。

1303 港湾

25-09-17-003 神奈川県

横浜港本牧ふ頭(横浜市中区)D-5ターミナルの一部、2025年9月16日供用開始。一部共用部分の総面積は約13ha(完成時22.3ha)。岸壁は水深16m、延長300m(完成時400m)。

1304 主要建造物

25-08-12-003 東京都

「城山プロジェクト」(港区虎ノ門4-3-1、虎ノ門4-3-2、六本木1-10-3)、のうち「スウェーデン大使館」の改修、2027年完成予定。同プロジェクトは「城山トラストタワー」(地下3階、地上36階建て。延べ床面積10万6236平方メートル)、「城山トラストコート」(地下4階、地上12階建て。2万1016平方メートル)、「日経虎ノ門別館」(地下1階、地上10階建て。1万8417平方メートル)などで構成。

25-08-31-001 東京都

複合商業ビル「NEWoMan Takanawa(ニューマン高輪)」(港区高輪2丁目、THE LINKPILLAR 1 SOUTH、THE LINKPILLAR 1 NORTH、THE



弊社屋上から見た首都高

首都高から見える印刷会社です。

小宮山印刷は今年で創業103年。首都高の生まれるずっと前からこの地で頑張っています。今日まで会社を続ける事が出来たのも、ご愛顧いただけるお客様あってこそ。この先もお客様に喜んでいただく事を第一にきめ細かなサービスを提供し続けます。弊社屋上からは首都高の美しい夜景が見られます。ぜひ一度お立ち寄りください。



小宮山印刷株式会社 <https://www.kpi-net.co.jp>
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-3
TEL.03-3274-0051(代) FAX.03-3273-2182

LINKPILLAR 2)、2025年9月12日開業。最終延べ床面積約6万平方メートル、総店舗数約200店舗。

1305 企業

25-08-30-003 東京都

ホンダは2025年8月29日、本社を東京駅前の再開発ビルに2029年移転すると発表。再開発地区「八重洲二丁目中地区」(中央区八重洲2-4～7)に入居。地下3階、地上43階建て。再開発ビルの竣工時期は2029年1月末の見通し。2025年5月まで本社機能があった「ホンダ青山ビル」(港区)を2030年度ごろに建て替える計画は見直し。

1306 住宅団地

25-10-24-010 栃木県

2019年の台風19号で大規模な浸水被害を受けた那須烏山市宮原・下境の2地区、113世帯の防災集団移転、2025年10月14日国土交通相の同意を得たと発表。移転先は同市下境の旧境小学校跡地。時期・規模等は不明。

1307 区画整理・都市開発

25-10-17-014 千葉県

「東京大学西千葉キャンパス跡地複合開発」(千葉市稲毛区弥生町1-8外(東大西千葉キャンパス跡地の一部)、2027年1月～3月完成予定。全体敷地面積7万5299平方メートル。「共同住宅(I区)(仮称)」は7階建て。延べ床面積4万4903平方メートル、総戸数512戸。「共同住宅(II区)(仮称)」は7階建て。同2万7942平方メートル、総戸数319戸。「学生マンション(仮称)」は6階建て。同7650平方メートル、312戸。「サービス付き高齢者向け住宅(仮称)」は6階建て。同7989平方メートル、110戸など。57戸の戸建て住宅、介護施設、西千葉キャンパスパーク(仮称)なども備える。

25-10-29-014 東京都

麻布台ヒルズ レジデンスB棟」(港区麻布台1丁目1000-2、虎ノ門・麻布台プロジェクト)、2025年10月29日竣工。地下5階、地上64階建て。延べ床面積18万5372.02平方メートル、敷地面積9648.39平方メートル。これで「麻布台ヒルズ」が全街区完成。

25-10-24-011 神奈川県

「浦賀駅前周辺地区活性化事業」(横須賀市、浦賀ドック周辺(浦賀駅前周辺地区))、2029年以降完成予定。ホテル(150戸)とマンション(80室)はいずれも16階建て。敷地面積15万0301平方メートル。同事業はホテル、マンション、ヴィラ、商業施設、アーバンスポーツ施設、有料老人ホーム、浦賀ミュージアム、カフェ、広場などで構成。

1308 流通施設

25-09-18-010 東京都

マルチテナント型物流施設「Landport日野」(日野市日野台3-1-36外)、2030年1月31日完成予定。6階建て、延べ床面積24万8756平方メートル、敷地面積10万1179平方メートル。

25-08-20-009 神奈川県

マルチテナント型物流施設(横浜市瀬谷区、旧上瀬谷通信施設地区)、東棟は2030年、西棟は2031年完成予定。総延べ床面積約70万平方メートル、敷地面積約22ha。

25-08-28-016 愛知県

マルチテナント型物流施設「プロロジスパーク東海1」(東海市東海太田川駅西土地区画整理事業地内)、2027年5月完成予定。4階建て。延べ床面積約16万0900平方メートル、敷地面積約7万2800平方メートル。隣接地のBTS型物流施設「プロロジスパーク東海2」は完成時期不明。4階建て。延べ床面積約6万3700平方メートル、敷地面積約2万9300平方メートル。

1401 史跡・文化財

25-09-19-013 広島県

「原爆ドーム(旧広島県産業奨励館)」(広島市中区)、2025年9月18日正式に国の特別史跡に指定。20世紀の遺構として初の指定、1996年には世界遺産にも登録。広島県内では「厳島」(廿日市市)、「廉塾ならびに菅茶山旧宅」(福山市)に続く3件目の指定、広島市内では初。

1402 ホール

25-09-29-016 東京都

「日比谷公園大音楽堂(野音)」(千代田区日比谷公園1-5)で2025年9月28日、老朽化に伴う建て替え工事前の最後のコンサート開催。同年10月から使用休止、2029年頃再開予定。1923年に日本初の本格的な野外音楽堂として開設。

1402 博物館・美術館

25-09-30-023 奈良県

「奈良監獄ミュージアム」(奈良市般若寺町18)、2026年4月27日開館予定。延べ床面積2463平方メートル、敷地面積10万0478.50平方メートル。ホテル「星のや奈良監獄」も入る。

1501 学校

25-09-03-016 北海道

「札幌大谷大学」(札幌市東区)、2027年度から「札幌芸術大学」に名称変更予定。「札幌大谷大短期大学部保育科」は札幌大谷短期大学こども学科に名称変更。札幌大谷中学校・高校の名称は変更しない。

25-09-20-004 千葉県・福島県

「川村学園女子大学」は、文学部と生活創造学部、大学院人文科学研究科を2027年春に、医療創生大(柏市、いわき市)に譲渡する協議を始めたと2025年9月18日発表。実現すると、川村学園女子大は学生募集を停止している教育学部の全学生が卒業した段階で閉学の見込み。

歴史や道のを後世に残し
理念や考え方を伝える出版活動

周年史 社史 編年史 小史 記念誌



株式会社アイワード

記念誌作成資料を無料進呈中

<https://www.iword.co.jp>

アイワードがお手伝いする
社史・記念誌

手に取り読みたくなる出版物
正しい文章と的確なページ編集
ハイセンスな誌面構成

本社 〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5番地91
東京営業部 〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目4番3号 高岡ビル6階

TEL 011-241-9341 FAX 011-207-6178
TEL 03-3239-3939 FAX 03-3239-3945

「函館鳥かん図」(吉田初三郎作、約25%縮小、部分)

46×187cm、1948(昭和23)年頃、絹本原画、函館市中央図書館蔵

本図は昭和11年に函館市役所が発行した吉田初三郎作の絵図「函館市鳥瞰図」(原画は堺市博物館蔵)とは異なり、昭和23年頃の作画である(函館市中央図書館デジタル史料館解説より)。

この「函館鳥かん図」は「函館市鳥瞰図」と構図や作画範囲はほぼ同じであり、例えば、停泊船舶の数や位置も(小型船舶を除き)一致する。

しかし、異なる部分もあり、季節は春とし、五稜郭や各所に桜を配する。また後背の山々の稜線も異なり、原色を避け、清々しい色調で統一されている。

建造物など細部もアップデートされており、駒ヶ岳からは噴気(昭和22年2月の火山活動の名残か)が立つ。表紙図ではカットされたが、左端の函館本線には汽車が加えられた。また、函館駅の引き込み線も増えており、作画に当たって現地調査や、関係各所からの情報提供があったと推測される(昭和23年5月発行の地形図では函館駅の鉄道引き込み線数は昭和11年のままである)。

(編集部)

